

# くすのき

大曾根小学校 学校便り No.7

R6. 1. 9日新 類 類 評

## 令和六年、辰年～「龍」のように昇ろう！

新しい1年が始まりました。本来であれば、文頭で新年のあいさつを申し上げるところではありますが、ご存じのように北陸地方では多くの方が被害に遭われました。お悔みを申し上げるとともに、1日も早い復興を願っています。

さて、今年は辰(たつ→龍)年。そのイメージ通り、「昇」になぞらえて、目標に向かって“昇る”。目標を達成し、さらにその先へと上がっていく1年になりますよう、職員一同、全力で応援していきます。令和6年もどうぞよろしくお願いいたします。

大空に舞い上がる龍のように、みんなが大活躍する1年になりますよう。



### 1年の始まりに ～校長先生のお話～

冬休みは、楽しく安全に過ごすことができましたか？校長先生が冬休み前にお話したこと、「一年の計は、元旦にある」新年の目標は、立てることができましたか？目標は、立てるだけではなく、それを達成するために、どのようにするのかを考えることが大切です。そして、目標に向かって挑戦することで、できることを増やして欲しいと思います。そうすることが、みんなが生き生きと輝く学校にすることにつながります。ぜひ、頑張ってください。

さて、年の初めに、目標に向かって努力している人のお話をします。そう、メジャーリーガーの大谷翔平選手ですね。大谷選手は、高校1年生のとき、自分の成し遂げたいことを81マスの中に書き入れました。そして、それを達成するためには「人間性」が大切だと考えたのです。

「人間性」では、感性、愛される人間、計画性、思いやり、感謝、礼儀、信頼される人間、継続力の8つ。そして「運」では、あいさつ、ゴミ拾い、部屋そうじ、道具を大切に使う、審判さんへの態度、プラス思考、応援される人間になる、本を読むの 8つです。これらことができれば、おのずと、愛され、信頼され、応援される人になれると思います。実力がすべてと言われるプロの世界なのに、それに挑むには、「人間性」や日頃の振る舞いから引き寄せる「運」が大切だと、誰に教わるでもなく、わかっていたようです。なので、大谷翔平選手は、野球の実力だけでなく、そのキャラクターが多くの人に愛されている人なのだと思います。このような「人間性」「運」は、プロ野球選手だけではなく、これから私も含めて、誰もが生きていくためにも大切なことです。

それでは、今のクラスも残り3ヶ月、新しい学年への準備をして、今年も頑張っていきましょう。

### 『野球やろうぜ！』～大谷翔平選手からの贈り物～

全校集会で校長先生から紹介があったように、大曾根小にも大谷翔平選手からグローブが3個届きました。集会の後、各学級に回し、見て、触れて、手を通してもらいました。

子供たちは、大スターからの贈り物に興奮していました。「野球、よく知らないし」と言っていた子も「大谷翔平選手」は知っている！

大谷選手からのメッセージの中に、印象的な部分がありました。『私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。』

グローブの活用については、今後検討してまいります。

